

# 常任委員会審査報告

## 総務企画常任委員会報告

マイナンバーカードの再交付手数料は地方公共団体システム機構で

(問) マイナンバーカードと健康保険証の紐つけやカードを紛失した際のセキュリティはどのようになっているか。

(答) 健康保険証との紐つけについて具体的なスケジュールは示されていない。また暗証番号が知られない限り紛失しても悪用はされない。

庁内のテレワーク環境・無線化対応機器購入費約2億2千万円で落札

(問) 一般競争入札にしなかった理由と、入札を辞退した業者の辞退理由は。

(答) 一般競争入札の対象は設計金額4千万円以上の工事であり、物品契約には該当しない。入札が成立しているので辞退の理由は聞いていない。

(問) 市契約規則第11条には無効の入札規定がある。これに該当しないから入札成立というのは疑問。執行前に3社が辞退、入札では5社のうち4社が辞退し結果的に1社のみとなった。入札を中止または延期すべきではなかったか。

(答) 投函後、開札までは辞退が無効か無効かは判断できず、開札の結果辞退があったとの理由で入札が無効とはならない。指名競争入札で札を投函したことで競争性が働いており落札者を決定したので、公明正大であると考ええる。



## 教育文化常任委員会報告

学校教育におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を適切に進めることを求める意見書

学校教育にICTを浸透させ、さらなる教育の充実を図るためのDXの実現に向け、教育DXに対応する教職員研修のあり方や、学校教育予算の充実・確保について検討を進めること、情報端末とデジタル教科書及び個人認証システムの互換性を確保するための統一規格についての検討を進めること、紙面活用と対面学習の併用を維持することについて迅速な対応を求めるもの。

委員からは、DXやSociety5.0は企業原理や経済上の言葉であり、子どもが主体となるべき教育現場には馴染まないのではないか、ICT機器は道具として使用するものであり、教育現場において全面的に推奨するべきものなのかどう

か、読解力やコミュニケーション能力の低下、個人認証システムの安全性に対する懸念や、子どもの視力低下などの健康上の問題、教職員の負担の増加になるのではないかとこの意見があった。

また、ICTの活用は不可欠で、小中学生の段階から活用していくことが必要であるとの意見や、将来の資産形成等の場面においても、子どものところからICTの基礎を学ぶことは大切であるとの意見があった。



## 保健福祉常任委員会報告

牛久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(問) 令和2年度の感染症対策としての保険税減免措置の申請件数と承認件数、一部免除・全額免除の割合は。また重篤な方は、減免の申請期間延長により、今年度も措置が受けられるか。

(答) 減免措置の保険料は、平成31年度、令和2年度分合わせて申請件数109件、承認件数は98件、減免金額は、940万6千円。1カ月以上の治療を要する重篤な傷病の減免実績はない。令和2年度と3年度の減免条件は、前年度比3割以上の収入減が条件となり、実際には本来の保険料が下がることで対応できる。

「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を提出

新型感染症は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼしている。医療・介護・福祉の十分な財源確保、病院の再編等の対策を国に求めるもの。

ワクチン接種の受付が開始されたが、予約が殺到したことが

ら、早急に受付体制の改善等を求めるもの。



### ○牛久市契約規則とは

契約事務に関し必要な事項を定めている規則であり、主に「競争入札参加資格申請」、「入札の執行」、「随意契約」、「契約の締結」、「契約の履行」等に関する事項を定めている。

なお、牛久市契約規則に基づく事務の詳細について

は、別に「牛久市契約規程」や「牛久市一般競争入札実施要綱」、「牛久市工事検査要綱」等の例規により定めている。



### ○DX (Digital transformation)

スウェーデンのウオメ大学教授エリック・ストルターマンが提唱し、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念である。

学校教育DXという場合、学校ICT環境の整備によって児童生徒の個別最適化された学びを実現したり、デジタル技術で社会を牽引する力を持った人材を育成したり、教員の業務負担軽減によって学校の働き方改革に資することにつながったりする。

### ○Society5.0

内閣府の第5期科学技術基本計画で提唱された未来社会のコンセプト。狩猟(1.0)、農耕(2.0)、工業(3.0)、情報(4.0)といった人類が歩んできたこれまでの社会に次ぐ第5の新たな社会。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会。



### 新型コロナウイルスワクチンの接種受付体制の改善等を求める決議

周知のように、本市では、令和3年5月17日から、65歳以上の高齢者を対象とする新型コロナウイルスワクチンの接種の予約受付を開始した。予約の電話が殺到し、一日中電話をかけたまま繋がらない事態が発生していることに加えて、WEBやLINEによる予約受付も直ちに埋まってしまうことから、多くの高齢者からは「一日も早く予約を済ませ、安心したい」との悲鳴が寄せられている。

一方、64歳以下の市民の接種予約受付は高齢者の接種完了後とされているが、現行の予約受付の方法が改善されなければ、高齢者の予約受付に際して生じている「混乱」が繰り返されることは必定である。

ところで、ワクチン接種の担い手についてであるが、65歳以上の高齢者数に比べて64歳以下の接種対象者数は、約2倍となることを踏まえれば、一人でも多くの担い手・接種会場の確保は喫緊の課題であり、その意味で、地元医師会の更なる協力が不可欠と判断する。

更に、高齢化のために運転免許証を返納する等、交通手段を持たない市民が増加しているが、このような市民に対する接種会場への交通手段の確保、そしてワクチン接種会場に行くことができない事情を抱える居宅介護者等への接種体制の確保も重要な課題と考える。

そこで、牛久市議会は、執行部に対して、下記の事項を早急に実施するよう、強く求める次第である。

記

1. ワクチン接種の予約受付に際しての混乱の改善策として、地域別や年齢別の細分化等による受付。
2. ワクチン接種について、一人でも多くの接種の担い手と接種会場の確保の一環として、牛久市医師会への改める協力の依頼。
3. 交通手段を持たない市民に対するワクチン接種会場へのうしタク等の無料券の配布。
4. ワクチン接種会場に行くことができない居宅介護者等への接種体制の確保。

以上決議する。  
令和3年6月17日  
牛久市議会

# 常任委員会審査報告

## 環境建設常任委員会報告

都市計画マスタープラン  
審議会を都市計画審議会  
に統一

(問) 今後都市計画マスタープラン策定委員会と策定サポートチーム、都市計画審議会との関連は。

(答) 前回のマスタープラン策定にあっても、策定委員会及び策定サポートチームが策定についての方針に関する事項を調査協議し、都市計画審議会が審議してきた。今後も同じ体制で行っていく。

(問) 都市計画審議会の委員の市民代表の公募制や女性委員の登用についてはどうか。

(答) 現在の市民代表は区長会、商工会、男女共同参画ネットワーク、農業委員などの団体にお願している。また女性委員は13人中2人。  
市民の公募の方法についても検討していくとともに、女性の委員を増やすため福祉部門など

からの委員の選出も検討していく。

請願第2号、第4号について参考人から説明を受ける

請願第2号 原発を廃止し、脱炭素社会に向けて再生可能エネルギーの推進のため第6次エネルギー基本計画の改定を求める請願  
請願第4号 新型コロナウイルス禍による米の需要減少、米価下落の改善と食料支援制度の創設、外国産米の輸入抑制等の対策を求める請願



○牛久市都市計画マスタープランとは  
「都市計画マスタープラン」とは、都市計画法に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」にあたるもので、将来の都市像、土地利用、道路や公園など、「まちづくり」に係わる基本的な方針を定める計画のことである。

牛久市では、平成12年に牛久市都市計画マスタープランを策定していたが、目標年次を迎えたことから、令和2年度に新たな都市計画マスタープランを策定したところである。



←こちらのQRコードをスマートフォン等で読み込むと、牛久市ホームページの「牛久市都市計画マスタープラン」のページが閲覧できます。

## 予算常任委員会報告

牛久シャトーの施設整備  
に対する補助金について

(問) 第三セクターの牛久シャトー(株)が主体である施設整備に対し、自治体が補助金を支出することの庁内での議論は。

(答) 第三セクターに自治体から安易に公的支援すべきではないとの指針が総務省より示されているが、日本初の本格的なワイン醸造場として重要文化財指定や日本遺産認定されたことが「日本のワイン文化」として認められた要因のひとつになっており、牛久シャトーのワイン醸造の再開に牛久市が携わっても良いのではないかと判断に基づいて補正予算を計上している。



牛久シャトー

テレワーク機器や無線機器に関して単年度契約に

(問) テレワーク機器や無線機器に関して当初はリース契約であったが、単年度契約に切り替えた理由は。

(答) コンピューターシステムは通常5年間ワンサイクルとして更新が行われるが、市の単独事業で行う場合は、各年の支出額をならす意味で複数年のリース契約を行っている。補助金を活用できないうえ、単年度一括購入契約としている。

牛久駅西口歩道橋改修工  
事中の安全対策

(問) 工事実施中の安全対策は。  
(答) 屋根設置の際に橋梁部分の通行を止めなければならないため、西口広場の横断歩道に係る工事を先行させて、そこから通行できるようにしてから橋梁部分の屋根設置工事を行い、安全第一で工事を進めていく。



○牛久駅西口歩道橋の屋根設置工事について

牛久駅周辺における拠点機能の充実を促進し、誘導施設の立地や居住の誘導を図りやすい環境を作ること为目标とした、「牛久駅西口地区都市再生整備計画(計画年度:令和元年度~令和5年度)」に基づき、牛久駅西口歩道橋に屋根を設置するもの。

令和4年度に計画されていた工事を前倒して実施することに伴い、第2回定例会において補正予算が計上された。



## 議員勉強会を開催しました。

4月16日に新型コロナウイルス感染症に係る議員勉強会を開催しました。

茨城県医療統括監の安田貢氏を講師に迎え、「新型コロナウイルス感染症とワクチンの効果、副反応」と題してご講演をいただきました。



## 令和3年第2回臨時会より

令和3年4月28日に第2回臨時会が開催されました。以下の3件の議案が提出され、すべて賛成全員で可決されました。

・議案第32号及び議案第33号 専決処分の承認を求めることについて

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、「牛久市税条例の一部を改正する条例」と「牛久市都市計画税条例の一部を改正する条例」について専決処分としたため議会の承認を求めるもの

・議案第34号 令和3年度牛久市一般会計補正予算(第1号)

「子育て世帯生活支援特別給付金」に係る事業費及び事務費補助金の計上

このほか、決議案1件及び議員提出議案1件が可決されました。また、茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙が行われ、遠藤憲子議員が当選しました。